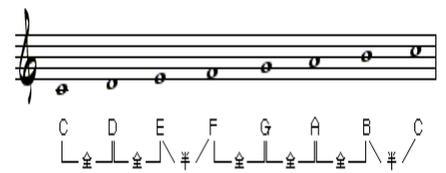


■ その他の代表的なコード (dim, sus, aug)



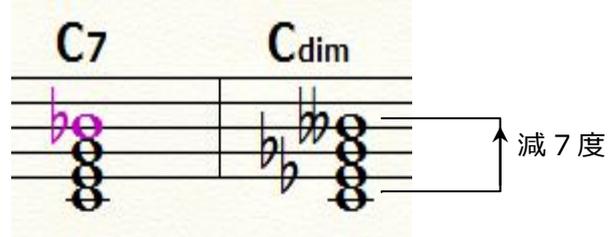
● デイミニッシュ・セブンス・コード (dim)

- ・デイミニッシュ・セブンス・コードはルートの上に短3度を3つ重ねてできていて、ルートと第7音の関係が減7度になります。



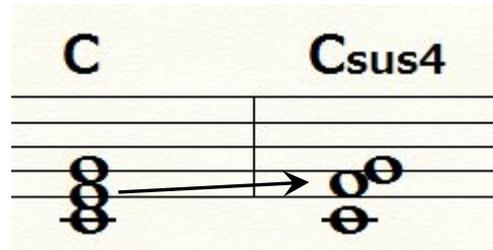
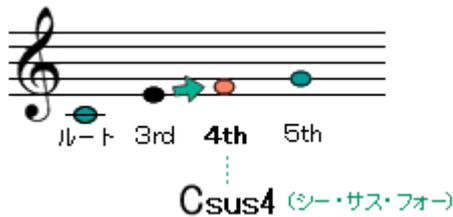
- ・デイミニッシュ・セブンス・コードはCdim7のセブンスを省略してCdimと書かれるのが一般的です。

※C7の第3音、第5音、第7音をそれぞれ半音ずつ下げる(diminished)。



● サスフォー・コード (sus4)

- ・サスフォー・コードはメジャー・トライアドの第3音を第4音にのぼして (suspend) つくられるコードです。



● オーグメント・コード (aug)

- ・augmented (増加された) コードという意味で、メジャー・トライアドの5音が半音増加されたもの。各音の間隔は長3度となります。

- ・第5音を半音上げることからCaugの代わりにC⁺⁵とかC^{#5}と書かれることもあります。



Caug: シー・オーグメント
もしくは
Cm(#5): シー・シャープ・フィフス



■ 具体的なコードの一例

